

令和7年度 学校評価書(年度)

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「共感」「規律」を基にした「自己決定力」

～「学美」の往還～



令和7年10月4日(土)開校10周年記念式典

節目の10周年、声高らかに歌った、伝統の「大地讃頌」

令和7年10月26日(日)矢立公民館文化祭

3地区の公民館文化祭や地元福祉施設に向いて、吹奏楽・北陽太鼓・合唱を披露。北陽中生の元気を、地域に届けました。



令和8年2月2日(月)
大館市立北陽中学校

V 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
「ゆるぎない学校」の創造へ、世代を超えて学業の本質を突き詰める職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	前期	良好	職員構成のバランス(年齢、経験年数、性別など)のよさを生かしながら組織を活性化させる手立てが構築されている。チームとしてのまとまりが感じられる。生徒も、子どもハローワーク等で積極的に地域で活躍しており、大変頼もしい。
	年度	良好	きわめて良好
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(1)(2)について一保護者評価は横ばい。教職員評価はやや減。 今年度も初任者研修(1名)、経験年数による研修(指導力習得研修(2年目教員)、5年目研修、指導力向上研修(8年目教員))や職務別研修(新任教務主任研修、新任学年主任研修、新任道徳推進教師研修)が多くある年となった。校内外での様々な研修を受けた成果を、全体に広めるチャンス年と言える。OJTの考えを生かし、学んできた最新の教育実践や理論などを、校内研修の場で生かし、北陽中の教員全体の力量を高められるようにしたい。 ランチミーティングは、若手教員にとって助けになっていることがアンケートの結果から読み取れる。今年度は、学年主任会の頻度を上げて(月1回から2回へ)、より共通理解を深めた上で教育活動を推進できるように工夫している。普段からの声掛けも重視し、「チーム北陽」の機運を醸成したい。</p> <p>(3)について一生徒評価は横ばい。保護者評価・教職員評価は上昇。 今年度は10周年の年ということもあり、昨年度に引き続き、「運動会における人文字の空撮」についてお知らせしたところ、多くの保護者や地域の皆様が集まり、大きな盛り上がりを見せた。昨年度から取り組んでいる「釈迦内地区防災学習会」や、北陽中生が従来から積極的に取り組んできた「子どもハローワーク」の活動も、夏休み中を中心に多くの生徒が参加し、地域で北陽中生が積極的に活動する機会が増えた。 学校報や学校ホームページ、学校ブログによってタイムリーに活動の様子を発信し、多くの方に学校の様子を伝えることができている。市内のマスコミ等とも連携して、北陽中生の活躍をより多くの皆様に発信する努力を継続したい。</p> <p>(4)について一教職員評価は横ばい 「生徒と職員が円滑に活動に取り組める環境づくり」という観点において、事務職員からの先を見通した提案や職員への周知は大きな助けとなっている。情報交換を密にして、適正な環境づくりに努めたい。</p>		
	<p>(1)(2)について一保護者評価、教職員評価ともに微増。 前期評価でも記載したとおり、今年度も年次別研修や職務別研修が多く、そのことを校内研修に生かす取組を推進してきた。4回の指定訪問研究会や、本校を会場に行われた大館市教育研究会授業研究会(音楽・保体)などの機会での取組を検証し、授業や日頃の活動を見直し、改善に生かすことができたと思う。学び続ける職員集団を目指し、今後も研鑽を積んでいきたい。</p> <p>ランチミーティングは、本校の特徴的な活動とも言える。給食時間を利用して、教員同士が情報交換をしたり、時として教員と生徒が情報交換をしたりするなど、柔軟な活用ができている。「チーム北陽」の雰囲気は、職員のみならず生徒にも波及しているとも言える。教員が範を示すことで、全体として高まっていく学校づくりを今後も推進していきたい。</p> <p>(3)について一保護者評価は微増。教職員評価と生徒評価は微減。 周年記念事業のハイライトとなった「開校10周年記念式典・記念北陽中祭」は、多くの来客を得て盛り上がりを見せた。生徒会テーマである「繋ぐ」を、生徒も教職員も意識して、一体となって盛り上がりを生み出すことができたと思う。一昨年度から取り組んでいる「釈迦内地区防災学習会」や、「子どもハローワーク」の活動も、引き続き多くの生徒が参加している。学校での学びと地域での学びを往還させる活動を今後も推進したい。 学校報や学校ホームページ、学校ブログによってタイムリーに活動の様子を発信し、多くの方に学校の様子を伝えることができている。FMラジオおおだてでの発信活動は残念ながら10月で休止となったが、引き続き学校の様子を地域に発信する取組を模索していきたい。</p> <p>(4)について一教職員評価は微増 予算は減額されてきているが、生徒の活動に必要な分を適切に活用することができている。また、校内照明LED化など大きな工事に関しても、施工業者との連絡調整を密にして、生徒が安心・安全に活動できる環境づくりに努めている。今後も、事務職員と連携して適正な環境づくりに努めたい。</p>		
	<p>(1) チーム北陽の在り方 <input type="checkbox"/> 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。</p>		
	<p>(2) 校務部及び学年部の効果的な連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指導部長会、主任会、学鍛(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	3	4
	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学鍛(担)会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力の活用	(3) 情報発信と地域活動の推進	学校HPや学校報、FMラジオなどでの情報発信の推進「往還」を意識した地域活動推進による地域とのつながりの強化	4	4
3 適切な予算運用	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	4	4

[1]に関連するデータ

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員
 【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

(1) チーム北陽の在り方

- 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。
 教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。

R7年度	R7前期	増減
4.0	3.9	+ 0.1
4.1	4.0	+ 0.1

(2) 校務部及び学年部の効果的な連携

- 指導部長会、主任会、学鍛(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。

R7年度	R7前期	増減
4.3	4.1	+ 0.2

[2]に関連するデータ

(3) 諸通信の発行と地域活動の推進

- 学校報の地域回覧・掲示や学校HPの更新、地域行事への参加・子どもハローワークの取組・防災活動の推進によって、地域とのつながりが深まっていると思うか。
 学校報地域回覧・掲示や学校HPの更新、地域活動の推進によって地域とのつながりが強化されていると感じるか。
 学校報や学校HPによる情報発信と地域活動推進によって地域とのつながりが強化されているか。

R7年度	R7前期	増減
4.0	4.1	- 0.1
4.3	4.1	+ 0.2
4.3	4.4	- 0.1

[3]に関連するデータ

(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理

- 予算配分・予算獲得と計画的な執行により、教育活動の成果が高まっているか。

R7年度	R7前期	増減
4.4	4.3	+ 0.1

ア 学校運営の状況

II 企画・調整

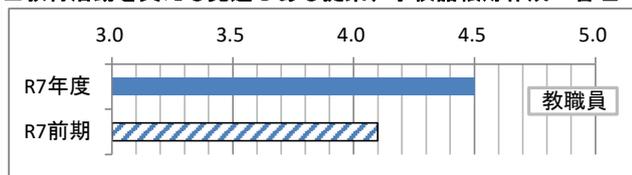
学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね良好	良好	これまで継続して行われてきた「学美ツアー」が今まで以上に機能して、生徒自身から「自分の役に立った」とコメントが出ているのが素晴らしい。自己決定力を育成する一助となっている。先生方も、生徒の自立につながるのか考えながら指導に当たっているのが分かり、ありがたい。「自己決定」というキーワードが、生徒・教職員相互に浸透している。
	年度	良好	良好	北陽中の特徴的な取組の一つである「学美ツアー」が、実効性のあるものとして生徒や職員に認識されている。対話を重視した共通の授業スタイルが確立されていて、安心して授業や活動に向かっている。周年行事を始めとした各種行事では、北陽中生の元気を地域に発信できている。今後も地域活性化の中心としての頑張りを期待している。
自己評価の概要と学校の改善策	(5)について：指導部長会や主任会、学級会などのランチミーティングや週案の早めの提案などを通して、多くの先生方が日々の活動や行事に対して見通しをもつことができていた。また、教科指導部長会もを行い、成績処理について共通理解を図ることができた。後期も、先を見通した提案を行っていく。 (6)について：今年の運動会は縦割りの色別で実施するため、学年合同体育や5時間目を70分設定にするなど、弾力的に運用したことで、生徒が見通しをもちながら十分に練習できたことが、達成感や参観した保護者の評価が高くなったことにつながっている。先輩の姿を手本にしたり、全校で目指すゴールの姿に向かって活動したりしていくことが、生徒の自己有用感につながっている。後期も、開校10周年の行事を生徒・教職員・保護者・地域で創り上げていく。			
	(7)について：4月に全員参加の学美ツアーを行い、全職員で北陽中の目指す姿を共通理解して取り組んでいけるようにした。各教科で研究課題を達成するために日々の授業実践をしており、北陽スタンダードの定着がなされていると感じる。各研修も生かして授業改善に努めていきたい。 (8)について：様々な場面で先輩が後輩に手本を見せる形やサポートする形の学美ツアーを行い、後輩のスムーズな活動につながった。また、後輩が先輩の授業の様子を見る学美ツアーを行ったことで、両者の意識改善につながった。今後も生徒と教師から拳がたつ声を踏まえて学美ツアーが設定されるようにしていきたい。指定訪問や視察の機会を逃さず、全員で研究主題を達成しようとする姿勢をつくりあげていく。			
	(5)について：生徒や教職員が目的に向かって余裕をもって計画や準備ができるよう、早めの提案を心掛けてきた。担当する生徒・教職員だけでなく、北陽中に関わる全ての人々が、ねらいを理解して歩んでいけるよう、提案しただけでなく過程における取組に対する支援や軌道修正などに注力していきたい。 (6)について：生徒の数値が落ちている要因の一つとして、後期は大きな行事がないことが考えられる。運動会や学校祭などの規模でなくても、学年集会やF集会など、生徒にとって必要感があり、自己有用感を高められるような企画を提案したり仕掛けたらいい。保護者の方々には、開校10周年に関わる諸行事への理解や沢山の参加をいただき感謝している。 (7)(8)について：各種訪問の際に研究の成果や課題について確認することができた。2学期末に研究推進委員会を開催し、次年度の方向性について確認した。北陽中スタンダードの定着が進んでいるが、今後生徒の実態とこれまでの伝統を踏まえて刷新していきたい。学美ツアーに関して、3学期に3年生の面接練習を参観するものを1、2年生で計画予定。来年度も学美ツアーを継続させていくが、昨年度行ったからではなく、生徒の実態に合っているか、主体性等の向上につながるかなど、その意義を職員と生徒が理解した上で取り組をより意味のあるものにしていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画と予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	4	4
	(6)組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画		
5 経営課題のクローズアップ	(7)「主体的・対話的で深い学び」の具体的実践	目指す姿を具体的に想定した授業や活動の構想と実践	3	3
	(8)全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー		

○学校評価アンケートの数値から（○生徒 □保護者 ■教職員） ※5段階評価{5:大変よい～3:おおむねよい～1:不十分}

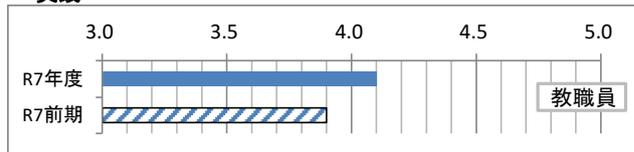
[4(5)に関連するデータ]

■教育活動を支える見通しある提案、学校諸帳簿作成・管理



[5(7)に関連するデータ]

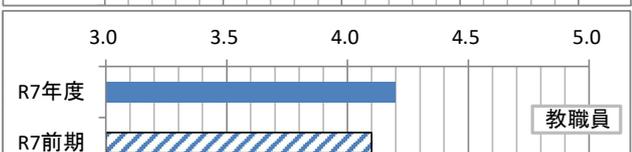
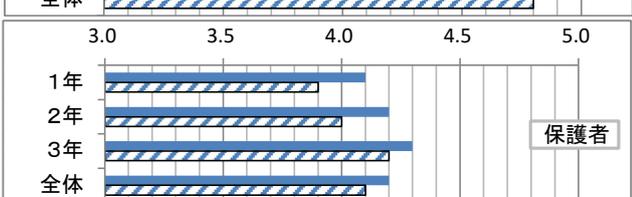
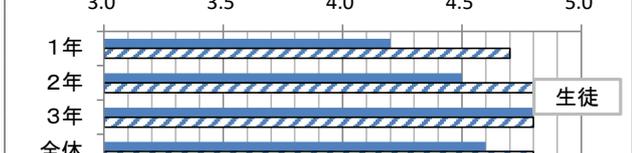
■教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践



[4(6)に関連するデータ]

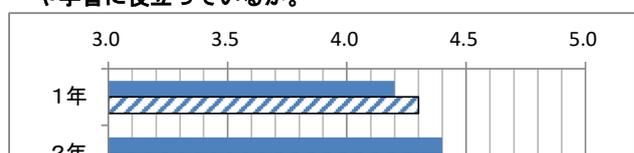
上段：R7年度 下段：R7前期

○□心を動かす学校行事の企画

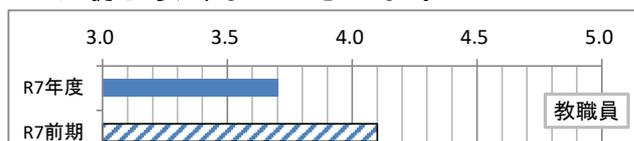


[5(8)に関連するデータ]

○学校行事や授業等で学美ツアーが行われ、自分の学校生活や学習に役立っているか。



■教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアーが計画され、自分事として捉えて参加することができるか。



イ 生徒の状況

Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付け、「学美」を実現する「学びかた」の指導に努めている。	前期	おおむね 良好	良好	生徒の主体性を大切に授業づくりについて、先生方が工夫していることが見てとれる。ノートづくりなど、生徒が学びを深められるように丁寧に指導しており、ありがたい。数値的な学力の結果から厳しめの評価になっていると思うが、引き続き個に応じた支援をお願いしたい。
	年度	良好	良好	参観したどの授業もいい雰囲気で学習活動がされていた。チームティーチングも効果的に活用されており、基本的学習習慣がしっかり確立されている。生徒が学びたくなる、調べたくなる授業づくりについて、今後も研究を重ねてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	(9)について:「家庭学習ノートを見合う会」や、そこで選出されたノートの「家庭学習の手引き」への掲載、またテスト計画を立てる際に、2・3年生が1年生に助言をする「学美ツアー」や定期テスト前の学習計画を立てる時間など、様々な形でPUDの時間を設定し、生徒自身が学び方を考える機会を意図的に設定した。今後は、PUDの時間の活用を継続するとともに、確かな学力の定着のためのPUTの時間も設定していく。			
	(10)について:教員同士の「学美ツアー」を4月に実施し、共通意識をもち授業実践をしてきた。今後も、生徒の疑問や気付きを引き出す仕掛けを意識した授業作りに努めていく。生徒の「学美ツアー」としては、1年生が2・3年生の授業を参観し、自分たちの学び方を見直す機会を設けた。2学期は、2年生が他学年の授業を参観する「学美ツアー」を企画し、新体制作りに向けて生徒の意識を高めていく。			
	(11)について:今年度から「振り返りの視点」を全ての教室に掲示し、全教科でそれを活用してきた。今後も引き続き、「他教科や日常とのつながり・活用」など学びの往還を意識した視点を与えることで、生徒のキャリア発達を促していきたい。			
	(9)について:家庭学習ノートを見合う会では、効果的な取組について生徒が自ら考え気付き、それを廊下掲示や学年通信で紹介することで、一人一人が家庭学習の意味について考える機会とした。また、11月には習熟度別で基礎・基本の定着を目指す指導(PUT)を実施した。生徒に身に付けさせたい力を明確にし、教科担当者が複数いる場合は連携し、一人一人を見とりながら指導することができた。			
	(10)について:9月に2年生が他学年の授業を参観する「学美ツアー」を行い、学校のリーダーとなる自覚をもつ機会とした。教員同士も、指定訪問等の機会を捉え、互いの授業参観をしたり授業作りについて意見交換をしたりすることができた。また、後期から学習委員会と学年委員の活動として、授業改善のための話し合いを帰りの会に位置付け、生徒主体でよりよい授業態度を築いていけるよう働きかけている。			
(11)について:夏休み中の校内研修において、各教科における振り返りの視点の与え方が明確になり、2学期の教員アンケートの数値が上昇した。今後も、学びの往還を意識し、振り返りの時間を充実させていきたい。3学期は、3年生の面接練習を1・2年生が「学美ツアー」として参観し、その学びを授業や日常生活に繋げられるよう指導していく。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 「学びかた」の指導	(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	4	4
7 確かな学力	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり 生徒の「？」や「！」を引き出す仕(四)掛け	3	4
	(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

【6に関連するデータ】

(9) 主体的学習態度の育成

○家庭学習へのアドバイスやPUNの方法を、先生方は工夫してくれていると感じますか。	R7後期	R7前期	増減
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりするなど、お子さんは主体的に学習に取り組んでいると感じますか。	4.3	4.4	-0.1
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。	3.8	3.8	+0
	4.1	4.0	+0.1

R7後期	R7前期	増減
4.3	4.4	-0.1
3.8	3.8	+0
4.1	4.0	+0.1

【7に関連するデータ】

(10) 授業の充実 共感と規律をベースにした授業づくり

■共感と規律をベースにした授業づくりができたか。	R7後期	R7前期	増減
	4.1	3.9	+0.2

R7後期	R7前期	増減
4.1	3.9	+0.2

(10) 授業の充実 生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け

○学校行事や授業などで学美ツアー(例:3年生が1年生の学活等に参加して、生徒総会の取組を説明するなど)が行われ、自分の学校生活や学習に役立っていますか。	R7後期	R7前期	増減
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。	4.2	4.2	+0
■生徒の「？」疑問や「！」驚き、気付きを引き出す仕掛けを工夫することができたか。	4.0	3.8	+0.2
	3.9	3.7	+0.2

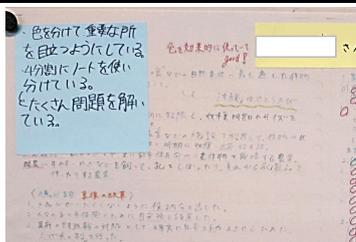
R7後期	R7前期	増減
4.2	4.2	+0
4.0	3.8	+0.2
3.9	3.7	+0.2

(11) 学びとキャリア発達 学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り

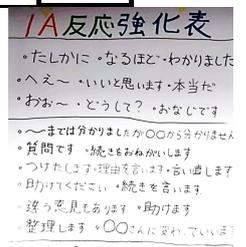
■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。	R7後期	R7前期	増減
	4.0	3.7	+0.3

R7後期	R7前期	増減
4.0	3.7	+0.3

10/29【総合】
全校生徒による
話し合い
カードで立場を
表した上で、意見
をつなぎあ
った



学習委員会の取組
左: 家庭学習
ノート(PUN)
の良い例を紹介
右: 反応を強化
するための教室
掲示



イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心・健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	前期	おおむね良好	良好	非常に難しい問題である「メディアコントロール」について、学区を巻き込んだ取組、生徒自身から声がかかる取組、地域の大人や保護者を巻き込んだ取組など、様々な工夫がされている。生徒の自律的な姿勢を意図的に育てる取組が素晴らしい。危機対応も迅速で、安心して学校生活を送ることができている。
	年度	良好	良好	生徒のあいさつ・振舞い・規律というものが高いレベルで確立されている。ヒヤリングからは、生徒・保護者・教職員間の信頼関係がとて良好なことを感じ取ることができた。不登校の生徒については減少傾向とのことだが、引き続き生徒に寄り添った組織的な対応をお願いしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	(12)について、生活向上委員を中心に、朝の挨拶運動を行っている。また月初めには、地域の方にも挨拶運動にご協力いただいている。(下記①参照)生徒の自己管理能力を高めるために、安全な登下校や身だしなみ、時間を守るなどについて、一方的な指導だけではなく、生徒自らが考え、自己決定し行動する場を意図的に設定してきた。また、避難訓練や防災学習会などを通して防災への意識付けを図ってきた。1学期は自転車の転倒による怪我が多く見られた。引き続き、交通ルールを遵守した自転車の乗り方やヘルメット着用、熊対策など毎日の登下校についても、生徒が安心・安全に生活できるよう指導を継続していききたい。			
	(13)について、保健委員が熱中症対策を呼び掛けたり、熱中症対策ポスターを掲示したりするなど(下記②参照)、教師がサポート側に戻って働きかけてきた。今年度もメディアに関する実態調査を行った。その結果を踏まえ、1学期末に「北陽中メディアシンポジウム」を開催した。(下記③参照)シンポジウムでは、生徒が主体的に考え実践していくこととする意識付けを図るために、パネリストからのお話を聞き、情報通信機器を使うメリットやデメリットについて全校で意見交換する活動を行った。今後は、夏休み中の生活や休み明けの学校生活につなげていくために、保護者への啓発活動や、生徒が自らの生活習慣を見直すことができるよう粘り強く指導していききたい。			
	(14)について、今年度も5月に教育相談を実施し、生徒理解に努めた。(下記④参照)未然防止や早期発見に向けて、日頃から小さなサインを見逃さないことや些細なことでも全職員で共有できるように組織的に対応していききたい。また校外問わず、チーム学校としてスクールカウンセラー等の関係機関と連携しながら、生徒の居場所づくりや絆づくりを意識し、一人たりとも置き去りにしない体制づくりを目指していききたい。			
	(12)について、今年度も花岡地区の「おはよう作戦」(下記①参照)には多くの生徒が参加し、地域活動に取り組んだ。また生活向上委員が中心となり、落ち葉拾いや除雪作業を行い、通学路や校地内の環境整備に協力してきた。今年度は熊の目撃情報が多く、教職員による巡視等を行い、生徒にも事故防止について意識付けを図ってきた。さらに、大館市消防本部の協力により、2年生を対象に救急救命講習会(下記②参照)を実施するなど、危機回避能力の育成に向けても意識付けを図ることができた。今後も生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、生徒の自治的活動を進め、様々な場面で「暮らしかた」の指導を継続していく。			
(13)について、保健委員が放送で、感染症や防寒対策の呼び掛けをしてきた。また、メディアコントロールに向けた情報発信や大館市立総合病院の薬剤師による薬物乱用防止教室(下記③参照)を実施するなど、健全な生活習慣の育成や非行防止について意識付けを図った。少年健全育成標語コンテストにもたくさん生徒が応募し(下記④参照)、SNS利用やネット依存について啓発活動にも取り組んだ。今後も生徒が自らの生活習慣を見直し自分を律することができるよう、主体的な活動を促すような働きかけを継続していく。				
(14)について、教育相談を11月に実施し生徒理解に努めた。また関係機関と連携しながら、組織的な指導・支援を心掛け、日々の生徒観察やアンケートの活用(下記⑤参照)など多面的な生徒理解を図り、個別対応にあたってきた。不登校傾向の生徒については、SCと面談する機会を設けたり、通級指導教室での個別学習を進めたりするなど、生徒の実態に応じて対応してきた。今後も生徒が自己決定できるような支援体制を整え、活躍できる場を設定し自己有用感を高められるような働きかけを継続していく。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	3	4
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	メディアコントロールと安定した生活習慣の確立	3	4
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくり	4	4

【8に関連するデータ】

※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

(12)安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導

- 北陽中生自身が「暮らしかた」(挨拶や身だしなみ、時間を意識した行動など)を見直し、規律ある学校生活の充実が図られていますか。
- 災害や事故から身を守り、自分の命を自分で守る力が身に付いていますか。(クマ対策を含む)
- 生徒が自ら「暮らしかた」(挨拶・身だしなみ・時間を意識した行動、メディアコントロールなど)を見直し、職員が適切に指導したりすることで、規律ある学校生活ができていると感じますか。
- 生徒によって「暮らしかた」が見直され、充実が図られているか。
- 安心・安全な生活のために、生徒の危機回避能力を育成し、事故防止対策が講じられているか。

R7年度	R7前期	増減
4.2	4.2	± 0.0
4.6	4.5	+ 0.1
3.8	3.6	+ 0.2
3.9	4.1	- 0.2
4.4	4.0	+ 0.4

【9に関連するデータ】

(13)健全な生活習慣の育成

- 健全で望ましい生活習慣を身に付けるために、健康管理やメディアコントロールに取り組んでいますか。
- 害獣(クマ)対策・熱中症等予防対策・感染症等予防対策が講じられ、安心・安全な学校生活を送る体制が整えられていると感じますか。
- 健全な生活習慣の育成のために安定した生活習慣の確立と、感染症予防対策が取られているか。

R7年度	R7前期	増減
3.9	4.0	- 0.1
4.5	4.1	+ 0.4
4.2	4.1	+ 0.1

【10に関連するデータ】

(14)日常的・積極的な教育相談と生徒理解

- 教育相談やカウンセリングなどで、先生は親身になって対応してくれますか。
- 多面的な生徒理解と、組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくりがなされているか。

R7年度	R7前期	増減
4.5	4.7	- 0.2
4.3	4.1	+ 0.2

①花岡地区「おはよう作戦」



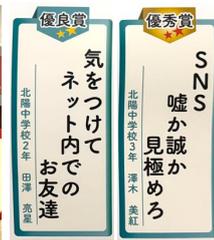
②救急救命講習会(2年生)



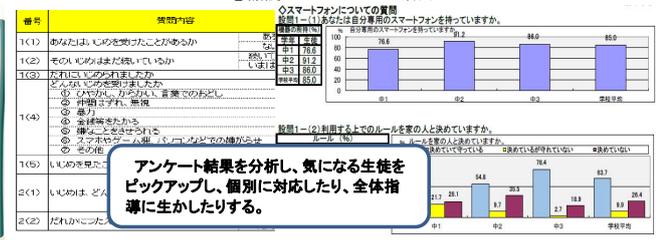
③薬物乱用防止教室



④少年健全育成標語コンテストへの応募



⑤諸調査・アンケートの活用



イ 生徒の状況

V 思いやりの心、たくましい心

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつなぐし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	良好	良好	行事や生徒会活動等に対して、生徒の自己評価が高い。これは、生徒自身のがんばり、学校の意図的な取組(仕掛け)が功を奏している。保護者も、子どもの様子から学校の取組にたいして信頼を寄せていることが分かる。引き続き、地域に勢いをもたらす存在として頑張ってもらいたい。
	良好	きわめて良好	生徒のヒヤリングから、各種行事等での満足度がとても高いことが読み取れた。先生方が意図をもって関わることで、生徒の成長につながっている。今後も生徒が安心して「集い」「挑める」ような集団づくりを推進してほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	(15)について: 学級・学年づくりにおいて、中央委員が中心となり学級の課題の解決に向かって、学級担任と相談しながら取り組むことができた。1学期を振り返る会では、各学年の実態に応じて、夏休みに向けて話し合い活動やレクリエーションで個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面を設定している。今後、各学年の取組の成果や課題を持ち寄り、学年の縦のつながりをもたせながら、学級や学年が更によりよくなるようにサポートしていく。		
	(16)について: 委員会編成を機にこれまでの活動を更によりよくしようと創意工夫を凝らした活動が増えている。また、それを教師がサポートする形で行うことができていた。更に生徒が主体的で責任ある活動を促すために、活動の目的や意義、各学年の立場・責任を年度初めや生徒会役員が切り替わる機会に再確認していきたい。また、生徒が安心・安全で充実感のある活動をするために、教師側が更に見通しをもって進めていきたい。		
	(17)について: 今年度から運動会は、縦割り班での活動に変わった。昨年度末から運動会当日までの見通しを上級生にもたせて活動できたことが心打つ振舞いにつながり、大きな達成感を感じることができたものだと考える。各学年の立場を考え、行動することにより、例年以上に学校全体のつながりが深まったと感じる。2学期の合唱コンクールや北陽中祭に向けて、夏休み前から見通しをもって活動に励んでいる。生徒や地域の方々の満足度が高まるように、教員同士の共通理解を確実に行っていきたい。		
	(15)について: 学級活動では、学級委員が中心となり週のためあてを設定し、帰りの会で振り返る活動を継続することができた。学年では、学期を振り返る活動を通して、個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面の設定を継続している。来年度に向けて、自己有用感が高まるような短学活を設定し、一人一人の良さが認められる場を更に作りあげていきたい。		
	(16)について: 生徒会活動では、常時活動をより充実させたり、新たな取組に挑戦したりする姿が見られた。また、昨年度の委員会編成から1年が経過し、再度活動内容の精選や入れ替えを行った。生徒総会では、各委員長と質問者が一往復半の対話を行い、お互いの考えを対話することができた。また、生徒総会で出た意見を委員会に持ち帰り、担当教師や委員と協議し、活動内容をより価値あるものにしてきている。今後は、生徒数の減少に伴う、教員数の減少を見据え、新たな委員会編成や仕事内容の精選を行い、持続可能で創意ある委員会活動になるようにしていきたい。		
(17)について: 北陽中祭・合唱コンクールの活動や準備で、3年生が先頭になって主体的に活動する場面が多く見られ、1、2年生も3年生を背中を見ながら目標に向かっていくことができた。10周年ということもあり、学校全体で成功させようとする集団の力を発揮することができた。今後、クラス数の減少や部活動に所属しない生徒の増加に伴い、学校行事の在り方や内容について見直しを図る必要がある。これまでの伝統を受け継ぎつつ、持続可能な学校行事を生徒とともに考えていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活を旨とする学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4	4
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	4	4
	(17) 仲間と心をつなぐし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕(四)掛け		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11]に関連するデータ ※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり

<input type="radio"/> 個のよさが発揮され、仲間と協働して取り組めるような学級活動が行われていましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動が実践されていたか。

R7年度	R7前期	増減
4.5	4.6	-0.1
4.0	3.9	+0.1

[12]に関連するデータ

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実

<input type="radio"/> 集団力を高めるような、創意ある生徒会活動が行われていましたか。
<input type="checkbox"/> 生徒会活動は、集団力を高めるような創意ある活動になっていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動が行われているか。

R7年度	R7前期	増減
4.5	4.5	0
4.0	3.9	+0.1
4.1	3.9	+0.2

(17) 仲間と心をつなぐし、目標に向かう「挑みかた」の指導

<input type="radio"/> 北陽中祭や部活動などでは、仲間と心をつなぐし目標に向かって取り組み、感動や達成感を味わえましたか。
<input type="checkbox"/> 学校行事では、生徒の目の色を変える仕掛けがなされ、心を育てる工夫がされていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛けがなされているか。

R7年度	R7前期	増減
4.6	4.8	-0.2
4.2	4.1	+0.1
4.3	4.3	0



開校10周年記念式典



新体制となった生徒総会



2学期を振り返る学年集会



10周年の学校祭

令和7年度 学校評価一覧

(年度)

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開

学校教育 成果	学校評価項目	評価者	自己評価A	学校関係者評価	評価指標	担当	実践課題		主な取組	評価根拠(アンケート等)		自己評価B					
							職員	生徒		職員	生徒		他				
人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成 今年度の重点 教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」「規律」を基にした「自己決定力」～「学美」の往還～	I 運営・展開 「ゆるぎない学校」の創造へ、世代を超えて学業の本質を突き詰める職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で編まれる振舞いの実践が行われている。	教頭	良好	さわめて 良好	世代交代を見据えた組織の活性化 2 地域の教育力の活用 3 適切な予算運用	教頭 事務部	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	○	○	4						
							(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学級(組)会による共通理解・共通実践の強化	○	○							
							(3) 情報発信と地域連携の推進	学校HPや学校報、FMラジオなどでの情報発信の推進「往還」を意識した地域活動推進による地域とのつながりの強化	○	○							
							(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	○	○							
							(5) 教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画・予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	○	○							
							(6) 組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画	○	○							
							(7) 「主体的・対話的で深い学び」の具体的実践	目指す姿を具体的に想定した授業や活動の構想と実践	○	○							
							(8) 全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	○	○							
							(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	○	○							
							(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり	○	○							
(11) 学びとキャリア発達	生徒の「？」や「！」を引き出す仕(四)掛け	○	○														
II 企画・調整 生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実践にに応じた調整が図られている。	教務主任・研究主任	良好	良好	4 校務アシスタメント 5 経営課題のクロローズアップ	企画部	(12) 安心・安全で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	○	○	4							
						(13) 健全な生活習慣の育成	危機回避能力育成と事故防止対策	○	○								
						(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	メデアイコントロールと安定した生活習慣の確立	○	○								
						(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	○	○								
						(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	○	○								
						(17) 仲間と心を一つにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○								
						III 主体的学習態度・基本的学習習慣 生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身付け、「学びかた」の指導に努めている。	学習指導部長	良好	良好		7 確かな学力	学習指導部	(18) 生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心・健康な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	○	○	4
													(19) 居心地のよい集団を築き上げる「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	○	○	
													(20) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	○	○	
													(21) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○	
(22) 仲間と心を一つにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○														
IV 自主的・自律的な生活・望ましい生活習慣 生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心・健康な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	生徒指導部長	良好	良好	8 規律ある学校生活 9 心身の健康の保持増進 10 教育相談の充実	生徒指導部					(23) 居心地のよい集団を築き上げる「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。			生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	○	○	4	
										(24) 多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり			共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	○	○		
										(25) 創意に満ちた生徒会活動の充実			学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○		
										(26) 仲間と心を一つにし、目標に向かう「挑みかた」の指導			学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○		
										(27) 居心地のよい集団を築き上げる「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。			多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	○	○		
						V 思いやりの心、たくましい心 居心地のよい集団を築き上げる「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	特活指導部長	さわめて 良好	良好	11 より良い集団生活を目指す学級・学年活動 12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	特活指導部	(28) 居心地のよい集団を築き上げる「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	○	○		4
												(29) 多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	○	○		
												(30) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○		
												(31) 仲間と心を一つにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	○	○		
												(32) 居心地のよい集団を築き上げる「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	○	○		

全 体 コ メ ン ト

令和 8年 2月 2日 (月)
大館市立北陽中学校 2階会議室

口頭による助言

- ・若手の先生方が生き生きと授業などを行っている姿を見て、生徒も安心して活動に取り組んでいる。安心感のある学校にしてくれてありがたい。
- ・質の高い授業が展開されていて、本当に素晴らしかった。
- ・公民館行事など、積極的に地域と関わる活動を今後も推進してほしい。
- ・(いい意味で)北陽中の雰囲気が変わったような気がする。学校が楽しい、先生が信頼できる、と答えている生徒が多いのがあるがたい。
- ・北陽中の学美ツアーを参考にして、小学校でも授業を見合う取組や、教科担任制の学習について取り組んでいる。今後も小学生の学びのお手本となる北陽中生であってほしい。北陽中の先生はプロの教育集団。引き続き連携して取り組んでいきたい。
- ・今日のヒヤリングの生徒はみんな物怖じせずに話していて感心した。どんな場面でも意欲的に話したり活動したりする北陽中生を育ててほしい。
- ・生徒をしっかり育ててくれて感謝しています。ありがとうございます。

北陽中学校 学校関係者評価委員

山本 多鶴子 小坂 正昭 佐々木 勝利 木村 治
橘 範広 三澤 亜矢子 太田 正